

盛本さんからのメッセージ

日々当たり前に生活している一般の方々同様私も警察や検察並びに裁判所は信頼に足る存在だと考えていました。

しかし、自身が逮捕そして起訴されて初めてそれらに疑問を抱きました。

私の話を一切信用しないどころか、嘘をついていると決めつけて捜査を行った警察組織並びに検察。

具体的な根拠は無いが、保釈を認めない裁判所。

拘束中は独房で誰とも話しをすることもできず、ひたすら黙って座っている事を強要され精神的に参ってしまいました。

拘置所の劣悪な環境で、持病の喘息も悪化しました。

刑事裁判で有罪が確定するまでは、犯罪を犯していないと推定して扱わなければならないという推定無罪の原則があります。疑いをかけられているとはいえ被疑者・被告人にも人権はあります。

しかし、この国ではそれを軽視するいわゆる人質司法がまかり通ってしまっています。私は、取り返しのつかない時間を奪われてしまいました。

人質司法という世界的にみても悪名高い慣習が正され、私と同じ境遇の人が、一日も早く、いなくなることを祈っています。